



2027年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年8月7日

上場会社名 東ブレ株式会社

上場取引所 東

コード番号 5975 URL <https://www.topre.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 山本 豊

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 松浦 孝一郎

TEL 03-3271-0711

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	100,646	14.2	6,808	39.7	9,038	229.4	6,562	221.8
2026年3月期第1四半期	88,120	2.7	4,873	3.5	2,744	74.0	2,039	70.9

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 9,751百万円 (507.8%) 2026年3月期第1四半期 1,604百万円 (85.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	134.26	—
2026年3月期第1四半期	40.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	380,791	251,347	65.0	5,116.85
2026年3月期	389,387	247,283	62.5	4,926.54

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 247,500百万円 2026年3月期 243,461百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	40.00	—	60.00	100.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	200,000	12.5	11,000	5.0	12,000	9.2	8,000	10.8	163.68
通期	392,000	3.5	23,000	18.0	24,000	32.9	15,000	19.2	302.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年3月期1Q	54,021,824 株	2026年3月期	54,021,824 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2027年3月期1Q	5,652,073 株	2026年3月期	4,603,429 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Q	48,876,398 株	2026年3月期1Q	50,003,464 株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 当社は、2017年3月期第2四半期会計期間より、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(表示方法の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10
3. その他	10
(継続企業の前提に関する重要事象等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高1,006億4千6百万円、前年同期比125億2千5百万円の増収（14.2%増）、営業利益68億8百万円、前年同期比19億3千4百万円の増益（39.7%増）となりました。経常利益は、外貨建て債権の評価による為替影響などにより、90億3千8百万円、前年同期比62億9千4百万円の増益（229.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、65億6千2百万円、前年同期比45億2千3百万円の増益（221.8%増）となりました。

②事業セグメント別の状況

<プレス関連製品事業>

プレス関連製品事業におきましては、アメリカでの物量増加により、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。その結果、プレス関連製品事業全体での売上高は、804億1千4百万円、前年同期比101億9千8百万円の増収（14.5%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、45億3千7百万円、前年同期比16億7千万円の増益（58.3%増）となりました。

<定温物流関連事業>

定温物流関連事業におきましては、冷凍車部門において、小型車の販売台数が増加したことに加え、生産体制の効率化などにより、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。その結果、定温物流関連事業全体での売上高は、164億7百万円、前年同期比19億6千8百万円の増収

（13.6%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、18億5千1百万円、前年同期比1億5千4百万円の増益（9.1%増）となりました。

<その他>

空調機器部門におきましては、住宅部門のメンテナンス及び暑熱対策製品の販売が堅調に推移したことにより、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。電子機器部門におきましては、キーボード「REALFORCE」のラインナップ拡充に伴う販売台数の増加と、OEM製品の産業装置向けタッチパネル応用製品の販売台数が増加したことにより、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。輸送事業におきましては、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。その結果、その他の事業全体での売上高は、38億2千4百万円、前年同期比3億5千8百万円の増収（10.3%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、4億1千6百万円、前年同期比1億1千2百万円の増益（37.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産の部)

流動資産は、主に現金及び預金の減少などにより、1,676億7千3百万円となりました。

固定資産は、主に有形固定資産の増加などにより、2,131億1千7百万円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ85億9千5百万円減少の3,807億9千1百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、主に未払法人税等の減少などにより、841億4百万円となりました。

固定負債は、主に長期借入金の減少により、453億4千万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ126億5千9百万円減少の1,294億4千4百万円となりました。

(純資産の部)

主に利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ40億6千3百万円増加の2,513億4千7百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月14日に公表いたしました2027年3月期の通期連結業績予想につきまして、最新の業績動向等を踏まえ、未公表としておりました2027年3月期第2四半期(中間期)の業績予想を公表しております。なお、2027年3月期の通期連結業績予想につきましては、2026年5月14日に公表の予想値から変更はございません。詳細につきましては、本日公表いたしました「2027年3月期第2四半期(中間期)業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,855	55,612
受取手形及び売掛金	60,161	57,030
有価証券	5,994	2,996
棚卸資産	39,149	39,771
その他	12,108	12,262
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	180,268	167,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	73,421	81,389
機械装置及び運搬具（純額）	49,489	53,899
建設仮勘定	22,701	13,391
その他（純額）	26,425	25,774
有形固定資産合計	172,036	174,454
無形固定資産	1,375	1,396
投資その他の資産		
投資有価証券	22,388	23,893
退職給付に係る資産	7,403	7,496
その他	6,005	5,885
貸倒引当金	△91	△9
投資その他の資産合計	35,705	37,266
固定資産合計	209,118	213,117
資産合計	389,387	380,791

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,049	54,201
1年内返済予定の長期借入金	9,155	9,070
未払法人税等	6,692	1,715
賞与引当金	3,484	1,704
役員賞与引当金	94	26
製品保証引当金	270	288
その他	19,840	17,096
流動負債合計	95,586	84,104
固定負債		
社債	15,500	15,500
長期借入金	20,793	18,583
繰延税金負債	7,700	8,483
PCB処理引当金	17	17
役員株式給付引当金	234	318
退職給付に係る負債	370	395
その他	1,900	2,041
固定負債合計	46,517	45,340
負債合計	142,103	129,444
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,610	5,610
資本剰余金	4,916	5,122
利益剰余金	204,705	208,291
自己株式	△7,278	△10,164
株主資本合計	207,952	208,859
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,656	9,442
為替換算調整勘定	24,328	26,736
退職給付に係る調整累計額	2,523	2,462
その他の包括利益累計額合計	35,508	38,640
非支配株主持分	3,821	3,846
純資産合計	247,283	251,347
負債純資産合計	389,387	380,791

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	88,120	100,646
売上原価	78,579	88,607
売上総利益	9,541	12,039
販売費及び一般管理費	4,667	5,231
営業利益	4,873	6,808
営業外収益		
受取利息	201	180
受取配当金	354	383
有価証券評価益	18	—
貸倒引当金戻入額	0	82
為替差益	—	1,499
助成金収入	2	1
持分法による投資利益	—	132
その他	80	103
営業外収益合計	656	2,382
営業外費用		
支払利息	50	63
社債利息	26	44
有価証券売却損	18	—
為替差損	2,553	—
持分法による投資損失	77	—
外国源泉税	22	14
その他	36	29
営業外費用合計	2,785	152
経常利益	2,744	9,038
特別利益		
固定資産売却益	29	34
投資有価証券売却益	701	—
特別利益合計	731	34
特別損失		
固定資産除却損	20	9
その他	—	0
特別損失合計	20	9
税金等調整前四半期純利益	3,455	9,063
法人税、住民税及び事業税	1,305	1,649
法人税等調整額	66	794
法人税等合計	1,371	2,443
四半期純利益	2,084	6,619
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	57
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,039	6,562

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	2,084	6,619
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	347	779
為替換算調整勘定	△633	2,276
退職給付に係る調整額	△17	△63
持分法適用会社に対する持分相当額	△176	140
その他の包括利益合計	△479	3,132
四半期包括利益	1,604	9,751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,557	9,694
非支配株主に係る四半期包括利益	46	57

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（1）自己株式の取得

当社は、2026年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,050,000株の取得を行いました。

（2）自己株式の処分

当社は、2026年5月14日開催の取締役会決議に基づき、株式報酬として、自己株式305,967株の処分を行いました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式の取得及び処分、単元未満株式の買取り等により、自己株式が2,885百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において、自己株式が10,164百万円となっております。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（連結貸借対照表）

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「固定負債」の「長期未払金」は、金額的重要性が乏しくなったため、当第1四半期連結会計期間においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「固定負債」に表示していた「長期未払金」7百万円、「その他」1,893百万円は、「その他」1,900百万円として組み替えております。

（連結損益計算書）

前第1四半期連結累計期間において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「固定資産賃貸料」は、金額的重要性が乏しくなったため、当第1四半期連結累計期間においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間において、「営業外収益」に表示していた「固定資産賃貸料」15百万円、「その他」65百万円は、「その他」80百万円として組み替えております。

前第1四半期連結累計期間において、独立掲記しておりました「営業外費用」の「固定資産賃貸費用」は、金額的重要性が乏しくなったため、当第1四半期連結累計期間においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間において、「営業外費用」に表示していた「固定資産賃貸費用」1百万円、「その他」35百万円は、「その他」36百万円として組み替えております。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。
 なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	5,715百万円	6,128百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プレス関連 製品事業	定温物流関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	70,216	14,438	84,654	3,466	88,120	—	88,120
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5	5	358	364	△364	—
計	70,216	14,443	84,660	3,824	88,484	△364	88,120
セグメント利益	2,866	1,696	4,563	303	4,867	6	4,873

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東邦興産(株)、当社の空調機器事業及び電子機器事業であります。

2. セグメント利益の調整は、セグメント間取引消去額・その他の調整額であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プレス関連 製品事業	定温物流関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	80,414	16,407	96,822	3,824	100,646	—	100,646
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7	7	362	369	△369	—
計	80,414	16,414	96,829	4,186	101,015	△369	100,646
セグメント利益	4,537	1,851	6,388	416	6,804	3	6,808

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東邦興産(株)、当社の空調機器事業及び電子機器事業であります。

2. セグメント利益の調整は、セグメント間取引消去額・その他の調整額であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

該当事項はありません。